



2026 年 1 月 14 日

各 位

東京都千代田区外神田 1-18-13
株 式 会 社 エ ス プ ー ル
代表取締役会長 浦 上 壮 平
(コード番号：2471)
問い合わせ先:取締役経営企画本担当 荒井 直
TEL：03-6859-5599（代表）

障がい者雇用支援事業の成長戦略策定に関するお知らせ

株式会社エスプール（以下、「当社」）は、これまで農園型障がい者雇用支援サービスを通じて培ってきた実績と支援ノウハウを基盤に、障がい者雇用支援事業における中長期的な成長戦略を策定いたしましたので、お知らせいたします。

当社は 2010 年の事業開始以来、15 年間にわたり障がい者の雇用創出と定着支援に尽力してまいりました。昨今の社会環境の変化やテクノロジーの進化を鑑み、今後はこれまでの強みを活かしつつ、中核事業である農園型雇用の継続的な拡大を柱としながら、AI や先端技術を介在させた「職種の拡大」および「障がい福祉分野への拡張」を推進してまいります。

本戦略を通じて、障がい者本人とそのご家族の「ウェルビーイング（人生の豊かさ）」の向上に寄与するとともに、社会的価値と事業価値を高い次元で両立させ、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

以 上

今後の障がい者雇用支援サービスの事業戦略

2026年1月14日

株式会社エスプール

東証プライム（2471）

就労困難な障がい者の雇用創出・安定に貢献してきた15年の歩み

雇用障がい者数	4,942名（知的 68%、精神 27%、身体 5% / 重度 約3割）
障がい者定着率	92%以上
農園数	59農園（6都府県、40市区）
連携自治体数	10自治体

※2025年11月末実績

先駆者としてのノウハウ

- ✓ 障がい者に配慮した独自の農園設備
- ✓ 3名1チーム＋管理者の運営体制
- ✓ 採用～職場定着までの支援体制

第1号農園
屋外型農園を
千葉県に開設

事業開始

2010

就労者
100名超

2014

第10号農園
中京初進出

2016

2017

就労者
1,000名超

2018

第30号農園
関西初進出
屋内型農園を
東京都に初開設

2020

2021

就労者
3,000名超

2023

2024

第50農園

第60農園
就労者
5,000名超

2026
(見込み)

今後の障がい者雇用支援サービスの事業戦略

重点戦略② 事業領域の拡充

障がい者支援の幅を広げる新たなサービス展開

重点戦略①

農園サービスの持続的成長

既存課題への対応による事業基盤の強化

重点戦略③ アカデミア・ディープテック連携

先端技術活用による新たな雇用支援の高度化・開発

〔目指すべき姿〕

》》》 障がい者とその家族の
ウェルビーイング向上

雇用支援の先にある、障がい者本人とその家族のウェルビーイング向上に貢献する

重点戦略① 農園サービスの持続的成長

重点戦略② 事業領域の拡充

障がい者支援の幅を広げる新たなサービス展開

重点戦略①

農園サービスの持続的成長

既存課題への対応による事業基盤の強化

[目指すべき姿]



障がい者とその家族の
ウェルビーイング向上

重点戦略③ アカデミア・ディープテック連携

先端技術活用による新たな雇用支援の高度化・開発

重点戦略① 農園サービスの持続的成長

農園の理想「エスプールモデル」を確立に向け、足元の課題に優先的に取り組みます。

農園サービスの現状課題

課題① 野菜が直接収益につながっていない

課題② キャリアアップの機会が限定的

課題③ 夏季の暑熱で稼働が制約される

課題④ 情報発信の強化と業界への貢献

課題解決を着実に推進し、幅広く支持される農園モデルの確立を目指す

課題① 野菜が直接収益につながっていない

野菜の販売による直接収益の創出が限定的という課題に対して、野菜の活用や販路拡大に取り組みます。

現状の課題

社員食堂での食材利用や
子ども食堂をはじめとした
福祉施設への寄付（CSR活用）などで
野菜が活用されている一方、
販売による直接収益の創出が限定的



対応策

- **野菜販売チャネルの整備**
ネット通販（食べチョクとの連携）
近隣スーパーでの販売（わくわく広場活用）
- **高付加価値化・生産性向上に向けた技術導入**
- **カフェ運営による野菜活用**
野菜の活用機会を増やし、
接客業を含む新たな雇用機会創出にも挑戦



成功体験創出

モチベーション向上

新たなスキルの習得

野菜販売を通じて、障がい者のやりがいとキャリアアップ形成を支援

課題② キャリアアップ機会が限定的

キャリアアップが限定的であるという課題に対して、農園内・企業内雇用を含めた機会を創出します。

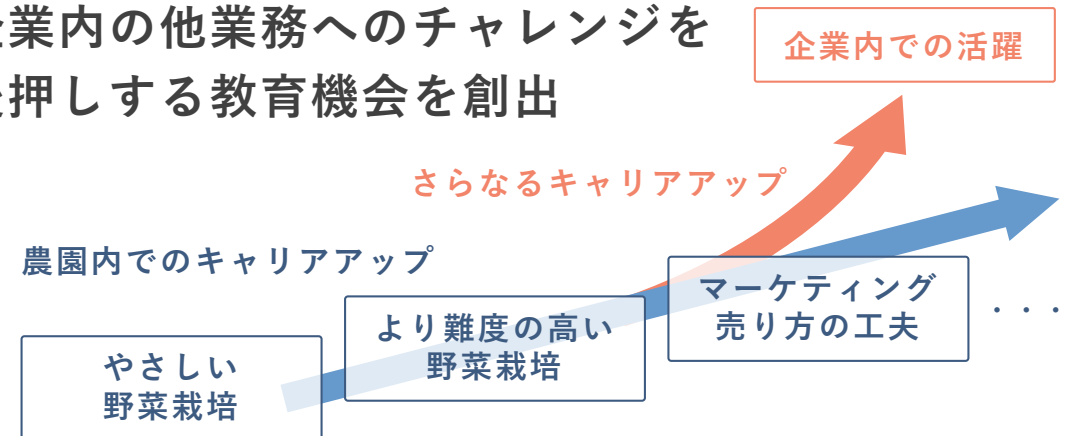
現状の課題

農園勤務者の多くは
継続勤務を希望している一方、
他業務へのキャリアアップ機会が
相対的に弱い



対応策

- 野菜づくりを通じた農園内でのキャリアアップの強化
例：栽培難度の高い高付加価値野菜への挑戦
販売促進施策を通じた新たなスキルの習得
- 企業内の他業務へのチャレンジを
後押しする教育機会を創出



各人の適性に応じた学びと実務機会を提供し、キャリア形成を継続的に支援

課題③ 夏季の暑熱で稼働が制約される

年中稼働の制約に対し、技術活用で稼働時間を増やすとともに、退避時間の有効活用に取り組みます。

現状の課題

屋外型農園は夏場の暑さが厳しく、
十分な稼働が難しい



対応策

- **ハウス内の温度低減技術の導入**
行田ファームにて実験導入済み
- **退避時間の有効活用**
売上増加につながる業務（メッセージカード作成等）や
他業務へのキャリアアップにつながる学習機会を提供

安全な就労環境を確保しつつ、業務と学習の両面からキャリア形成を支える

課題④ 情報発信の強化と業界への貢献

コミュニケーション課題については、情報発信の強化と業界の健全な発展に向けた取り組みに注力します。

現状の課題

当社の取り組みや考え方を十分に伝えきれていない面がある
(業界団体に未加入であったため、
連携の機会が限定的であった)



対応策

- **メディアを通じた情報発信の強化**
当社の取り組みや考え方を、
事実に基づき分かりやすく発信する
- **業界団体「日本障害者雇用促進事業者協会」に
加入申請済み。1月下旬に入会見込み**
業界の健全な発展に向けた取り組みに参画

当社の取り組みを正しく発信し、業界との連携を通じて信頼醸成に注力

重点戦略② 事業領域の拡充

重点戦略② 事業領域の拡充

障がい者支援の幅を広げる新たなサービス展開

重点戦略①

農園サービスの持続的成長

既存課題への対応による事業基盤の強化

重点戦略③ アカデミア・ディープテック連携

最先端技術活用による新たな雇用支援の高度化・開発

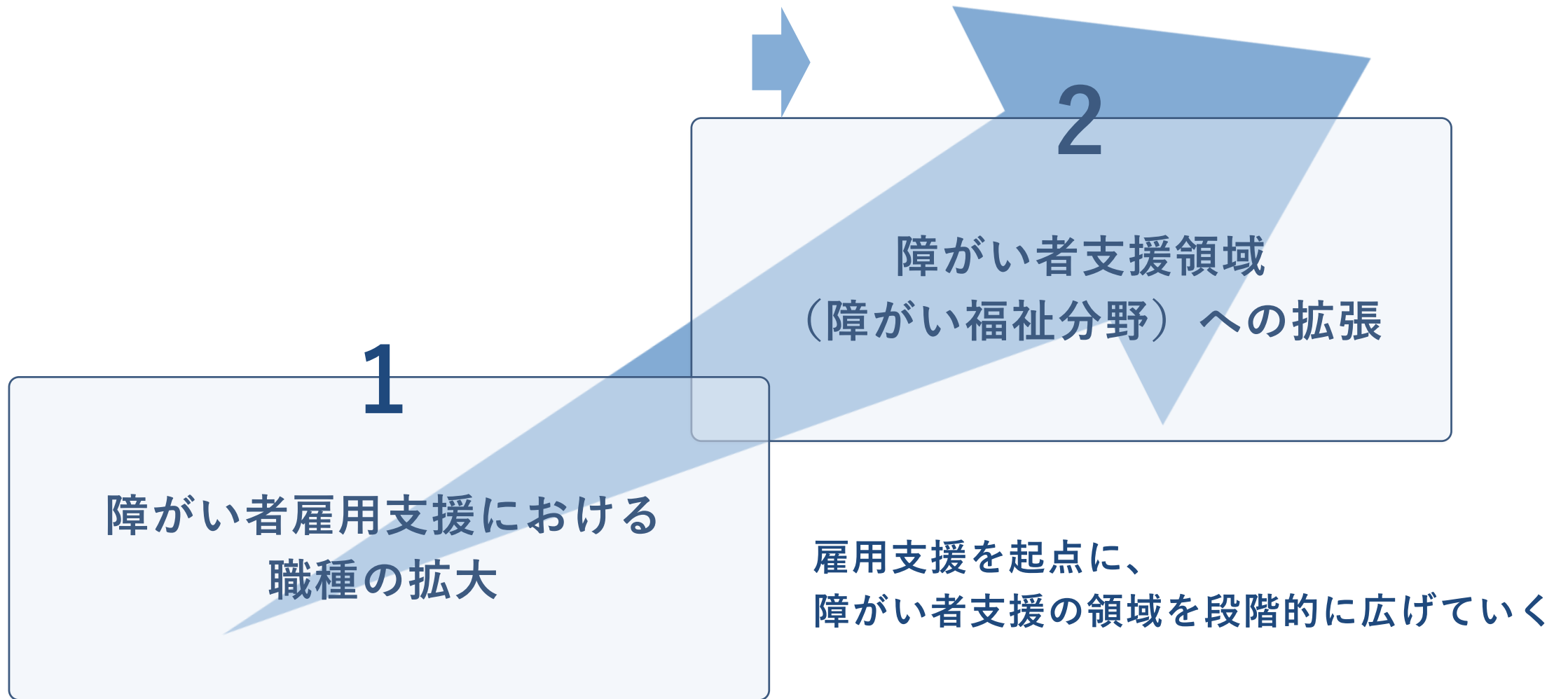
[目指すべき姿]



障がい者とその家族の
ウェルビーイング向上

重点戦略② 事業領域の拡充

障がい者が幅広く活躍できる社会の実現に向け、事業領域を拡充し、障がい者支援事業への進化を図ります。



障がい者雇用支援における職種の拡大

職種の拡大では、新たな雇用創出モデルの創出と、企業内業務への移行を支える支援を強化します。

障がい特性に応じた新たな雇用支援モデルの創出（例：AIによる職種拡大）

企業内のSNS等のオウンドメディア運用業務において、2025年12月から雇用のトライアルを開始

企業内業務への移行を支える支援（コンサルティング）の強化

障がい特性への理解促進支援／適性に合った業務の設計・最適化および定着化支援

多様な雇用機会を創出し、企業の障がい者雇用に新たな選択肢を提供する

AIによる職種の拡大（AI職種への進化）

AIを単なる効率化ツールではなく、障がいという制約を補完し、就労機会を拡張する基盤として捉えます。

デジタル・AI技術による
「制約」の解消

AIが物理的・認知的制約を補完し、従来は困難だった業務へのアクセスを可能にします。業務を細分化し、“できる”領域を最大化します。

新たな雇用選択肢
「AI職種」の創出

専門スキルがなくとも高度な成果を出せるモデルを構築。
2025年12月よりデジタル職種でトライアルを開始しています。

SNS運用

AIによる投稿作成・分析

データ入力・管理

AI校正による高精度入力

コンテンツ制作補助

AI生成文章の編集・校正

リサーチ・調査業務

AI検索支援による情報収集

カスタマーサポート

AI応答支援による顧客対応

オンライン事務

AI処理による書類作成

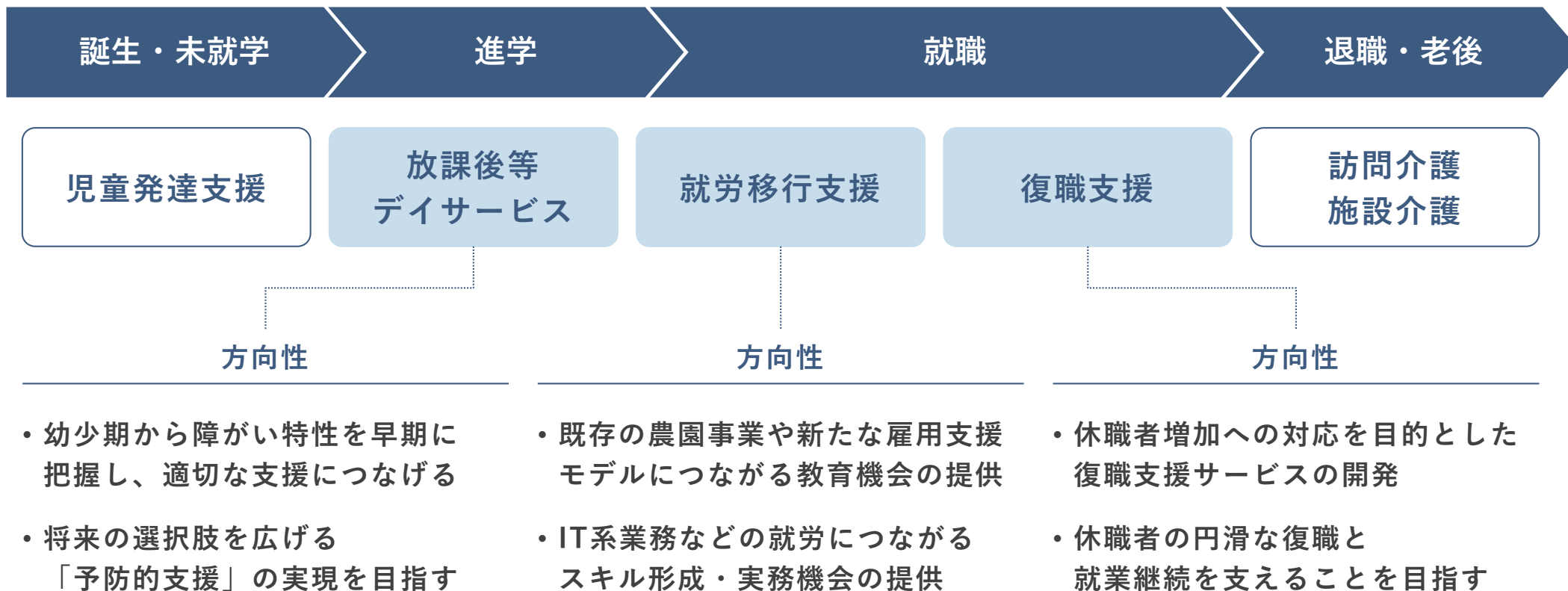
企業内雇用

企業内の業務（事務・マーケティング等）を対象に、AIを活用した業務設計・運用支援を行い、障がい特性に応じた配属・定着・成果創出を一体で支援します。

障がい者の“できる”を最大化するAI職域へ進化し、新たな雇用価値を創出

障がい者支援領域（障がい福祉分野）への拡張

障がい者支援の領域を拡張し、誕生・未就学から退職・老後に至るまでの各段階で支援を強化します。



障がい者のライフステージ全体を見据え、支援サービスを段階的に拡充

重点戦略③ アカデミア・ディープテック連携

重点戦略② 事業領域の拡充

障がい者支援の幅を広げる新たなサービス展開

重点戦略①

農園サービスの持続的成長

既存課題への対応による事業基盤の強化

重点戦略③ アカデミア・ディープテック連携

AI・先端技術活用による新たな雇用モデルの創出

[目指すべき姿]



障がい者とその家族の
ウェルビーイング向上

重点戦略③ アカデミア・ディープテック連携

科学的知見とディープテックを融合し、障がい者の「できること」を広げる新たな価値提供を目指します。

研究テーマ例

コミュニケーション支援技術

職場内コミュニケーションを
円滑にする技術など

定着・継続就労を支える技術

就業定着を支援するモニタリングや
フォローする技術など

就業・業務遂行支援技術

認知特性や業務特性に配慮し、
業務理解・作業遂行を支援する技術など

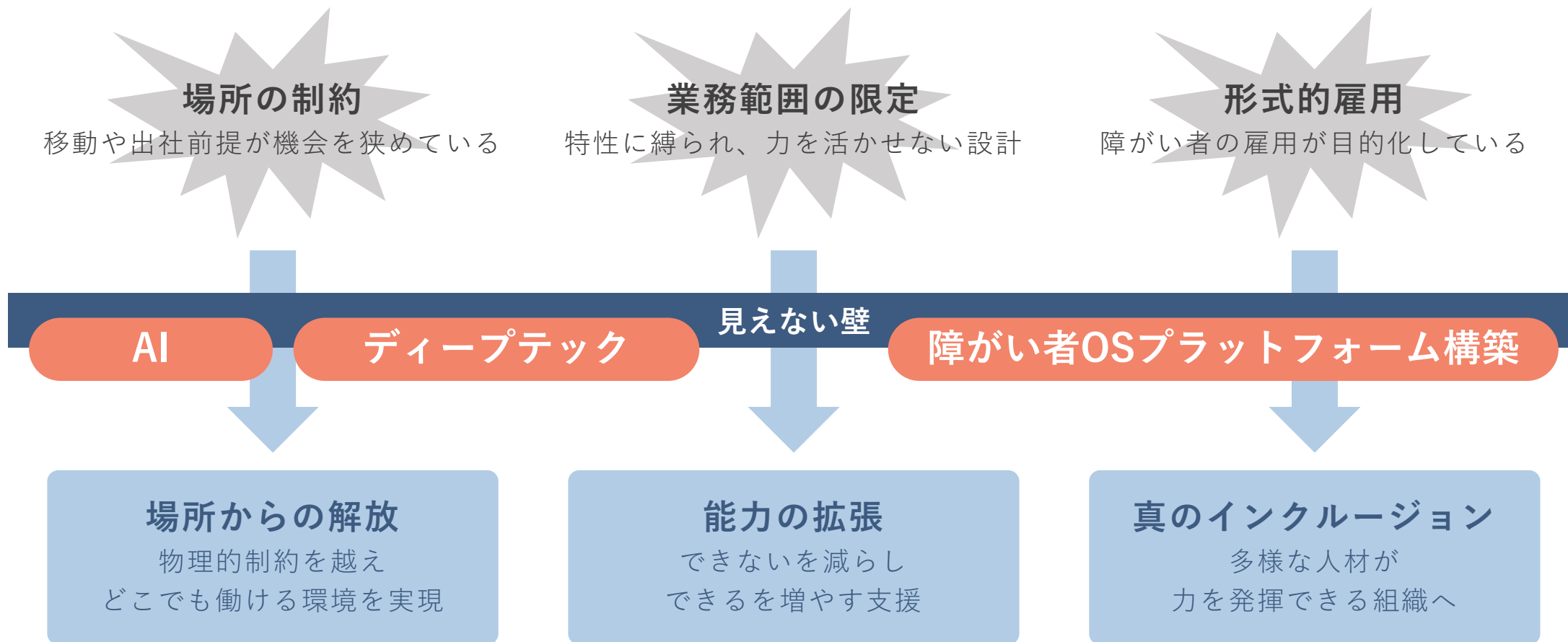
キャリアアップ・学習支援の支援技術

特性に応じた学習・訓練内容の
個別最適化を行う技術など

アカデミア・産業界との協働で、社会実装を見据えた雇用支援モデルを構築

目指すべき姿「AI・先端技術活用による新たな雇用モデルの創出」

障がい者の就労を阻んできた見えない壁をAIによって取り払い、新たなスタンダードを創出します。



AI時代の新しい雇用支援のスタンダードを創出する

ビジネス領域の未来像

それぞれの支援サービスを、技術活用や事業共創・出資などで強化し、エコシステムを構築していきます。

〔目指すべき姿〕 障がい者とその家族のウェルビーイング向上

